

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	音楽堂
指定管理者	公益財団法人神奈川芸術文化財団
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	文化課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p><1 管理運営等の状況> 優れた音楽に触れる文化芸術の鑑賞普及活動として「アンドラーシュ・シフ・ピアノリサイタル」をはじめ、「音楽堂 ニューイヤーコンサート」など質の高い音楽の提供を行うとともに、施設の特性を活かした「音楽堂建築見学会」を実施するなどして新たな利用者の獲得にも努めた。また、県内高校生が公演に参加する「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」を今年度も継続したほか、子ども・青少年への音楽体験提供をめざしてアウトリーチ活動等を実施しており、大人から子供まで幅広く文化芸術の鑑賞機会を提供しているため、B評価とした。</p> <p><2 収支状況> 収支状況については、年間を通して概ね計画通り執行されており、B評価となった。</p> <p><3 利用状況> ホームページ、新聞やラジオなど、メディアを活用した広報を実施しており、利用者数が目標対比増減率で11%のプラスとなったためA評価となった。なお、前年対比では8.9%のプラスとなった。</p> <p><4 利用者の満足度> 施設の利用から高い評価を受けており、マイナスの評価は見受けられなかったため、A評価となった。</p> <p><5 苦情・要望等> ホールの座席同士の間が狭いことや、エスカレーターを設置を希望する声が寄せられた。これに対して、施設の構造上、根本的な対策は困難だが、客席の座面や背面のパットを更新し座り心地の向上を図るほか、職員による丁寧な案内を行うなどして来館者が快適に過ごせるよう努めているため、B評価とした。</p> <p><6 事故・不祥事等> 貸館利用時に、利用者がホワイエのガラスを割るといった事案が発生したが、破損したガラスをベニヤ板で覆い2次的被害を防ぐなど、適切に対応されておりB評価とした。</p> <p><今後の方針等> 事業面では音響音響の良さを活用した音楽鑑賞機会を提供するほか、今後も青少年向けのアウトリーチ活動の充実に努められたい。また、26年度は開館から60年が経過し施設の老朽化が問題となっており、今後も利用者が安全快適に利用できるホールであるよう、適切な管理運営に努められたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	施設維持：開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を4日間、午前9時以前の利用を25日間行い、利便性に配慮した柔軟な対応を行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	施設維持：歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種定期保守点検を実施。 ・この下半期には、次の工事を実施した。機械警備マグネットセンサー交換、非常灯交換、舞台袖照明器具取替、正面玄関フランス落とし鍵交換、空調機用二酸化炭素発信機交換、照明設備部品交換、2階ロビー電気錠取替、非常用スピーカー修理、屋外水銀灯取替、消防用スピーカー修理、客席背パット・座面入れ替え、正面入口緑壁塗り替え。
3 (指定管理業務)	事業：木のホールの音響と空間を活かした音楽芸術活動及び鑑賞機会の提供	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第20回神奈川県国際芸術フェスティバル参加公演として「音楽堂で聴く雅楽」と、その関連アウトリーチを実施（アウトリーチについては、4文化事業に記載） 出演：佐々木冬彦、東京楽所、入場者数656人。 ・共催公演「第53回 音楽堂・おかあさんコーラス」参加者人数160団体延べ2856人。 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「第28回ヨコハマコンペティション（神奈川県芸術舞踊祭）入場者数延べ1,400人、「第47回神奈川県名曲三曲祭」入場者数延べ600人。 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽堂の建築の魅力を広く紹介するためのホール見学および講義、演奏を行う「音楽堂建築見学会Vol.5」 出演：藤森照信（建築史家・東京大学名誉教授）、松隈洋（建築史家・京都工芸繊維大学教授）、吉野直子（ハープ奏者）。入場者数284人。 ・「第48回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会」出演者：小泉ひろし（指揮）、市原愛（ソプラノ）、上杉清仁（カウンターテナー）、中嶋克彦（テノール）、加未徹（バリトン）、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、長久真実子（チェンバロ）、宇内千晴（オルガン）、神奈川県合唱連盟合唱（合唱指揮：松村努）入場者数869人。 <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽堂ニューイヤーコンサート「日本の音でお正月！」京の和み・江戸の粋」出演：狂言：茂山あきら、茂山千三郎、茂山宗彦、茂山逸平、鈴木実、能囃子：一噌幸弘、鶴澤洋太郎、安福光雄、桜井均 箏：西陽子 囃子：若獅子会 日本舞踊：弧の会。開演時、休憩時にハワイエにて獅子舞：福田神社囃子獅子舞（大和市無形民俗文化財）。入場者数657人。 ・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ニューイヤー・コンサート〜デュオ・グレイスを迎えて」出演：金聖響（指揮）、デュオ・グレイス（ピアノデュオ）。入場者933人。 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽堂建築見学会vol.6」出演：青木淳（建築家）、松隈洋（建築史家・京都工芸繊維大学教授）、西山 まりえ（チェンバロ、ルネサンス・ハープ奏者）入場者数233人。 ・共催公演「第37回神奈川県合唱フェスティバル」一般の合唱団22団体が参加、入場者数1000人。 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林沙羅・藤木大地・新ヴィヴァルディ合奏団「スプリングコンサート」出演：小林沙羅（ソプラノ）、藤木大地（カウンターテナー）、新ヴィヴァルディ合奏団、安井千紘（司会）、入場者数368人。 ・音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第10弾「アンダーシュ・シフ ピアノ・リサイタル」出演：アンダーシュ・シフ（ピアニスト）、入場者数995人。

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		177,782	—	—	177,782	177,782		0
年度計画	前年度	176,175	34,600	38,016	248,791	248,791	0	0
	上半期	85,121	17,603	15,420	118,144	118,144		0
	下半期	91,054	16,997	22,596	130,647	130,647		0
	今年度	176,157	34,900	32,834	243,891	243,891	0	0
	上半期	78,693	15,973	10,872	105,538	105,538		0
	下半期	97,464	18,927	21,962	138,353	138,353		0
通年実績	上半期合計	78,693	16,110	5,706	100,509	98,290		2,219
	対収支計画比	0.0%	0.9%	▲ 47.5%	① ▲ 4.8%	② ▲ 6.9%	③	2.1%
	10月	14,321	3,844	4,159	22,324	17,218		5,106
	11月	12,380	3,553	2,683	18,616	13,142		5,474
	12月	22,956	3,382	11	26,349	23,999		2,350
	1月	15,073	3,156	1,254	19,483	17,577		1,906
	2月	13,179	2,862	957	16,998	13,900		3,098
	3月	19,555	4,144	22,924	46,623	66,765		▲ 20,142
	下半期合計	97,464	20,941	31,988	150,393	152,601	0	▲ 2,208
	対収支計画比	0.0%	10.6%	45.7%	① 8.7%	② 10.3%	③	▲ 1.6%
通年合計	176,157	37,056	37,699	250,912	250,897	0	14	
対収支計画比	0.0%	6.2%	14.8%	① 2.9%	② 2.9%	③	0.0%	
参考	前年度 下半期実績合計	91,054	19,300	24,310	134,664	145,023		▲ 10,359
	対前年度 下半期実績比				11.7%	5.2%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、雑収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	○	×	日程の都合上、客席座面・背パット更新等の修繕工事を、下半期に実施したため、当初の計画より約10%の支出増となった。なお、年間では約3%の増となった。
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	日程の都合上、客席座面・背パット更新等の修繕工事を、下半期に実施したため、下半期の収支差額がマイナスとなったが、年間での収支差額は0となった。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

- 目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で
- A : 105%以上
 - B : 95%以上～105%未満
 - C : 85%以上～ 95%未満
 - D : 85%未満

- 入所施設等定員がある場合、定員比で
- A : 100%
 - B : 90%以上
 - C : 80%以上
 - D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	19,780 人	19,780 人	100.0 %
11月	18,476 人	16,029 人	115.3 %
12月	13,107 人	11,119 人	117.9 %
1月	11,570 人	4,768 人	242.7 %
2月	11,931 人	14,770 人	80.8 %
3月	14,997 人	16,054 人	93.4 %
合計	89,861 人	82,520 人	108.9 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	89,861 人	82,520 人	75,550 人	① 119.0 %	② 108.9 %
上半期計	77,821 人	83,407 人	75,550 人	① 103.1 %	② 93.4 %
合計	167,682 人	165,927 人	151,100 人	① 111.0 %	② 101.1 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	通年 指定管理者提案値	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	○	休館日(月曜日)に臨時開館するなど、利用者のサービス向上に努めたため。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	×	休館日(月曜日)に臨時開館するなど、利用者のサービス向上に努めたため。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	ホール						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	1,054						1,054
年間利用可能日数	296						
最大人数	311,984	0	0	0	0	0	311,984
半期	155,992	0	0	0	0	0	155,992

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	0	8	0	0	0	8	8 (100.0%)
[参考] 上半期結果						0	0 ()

※今年度の実施予定

上半期 0 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 8 件

回収 8 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	44	44
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
[参考] 上半期結果	4	0	1	0	116	121
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	座席が狭い (7件)	建物の構造上、改修が難しいため、段階的に座面や背パットの更新工事を実施し座り心地を改善している。
	エスカレーターを設置して欲しい (3件)	建物の構造上設置が難しいが、職員が親切丁寧に案内を行うことで対応している。
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
2月14日	ホワイエガラス破損	当日利用者数名がホワイエ内を駆け回っていたため。	利用団体に対して注意喚起を行うとともに、一時対応として、破損部分をベニア板で覆い、後日窓ガラスを入れ替えた。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		